

MTM 導入・構築セミナー感想文

医院名 : ひるま矯正歯科 (東京都立川市)
実施日 : 2011年10月2日(火)
実施内容 : MTM 導入・構築セミナー (1日目)
(敬称略)

<感想 歯科衛生士 千田幸恵>

衛生士の千田です。入局8年目で担当患者さんを600人程もたせていただいています。

10月2日の講義, ありがとうございます。

徳本さんの講義の中の言葉で「自分なりの目標を立てること, いつまでに何をするか, それらをできない事より考えないことがいけない」というのがありました。例えば, 日々の診療に追われながらも本を読むことはしていますが, 「いつまでに読み終わる」そして「どのように生かすか」などを考えたことはありませんでした。限りある時間を効率よく使えるようにするためにも目標を立てながら勉強をする習慣を身につけられるようにしようと思いました。

そして, もう一つが担当患者さんへのアピールを積極的にできるようにすることが必要だと思ったことです。以前担当患者さんに「歯のクリーニングをよくしてくれて, 丁寧にやってもらえている」言っていたことがあります。私はその患者さんの担当なので積極的にPMTGをしていましたが, その患者さんは「マイハイジーンリスト」という意識がなかったそうです。矯正治療で長期に渡り患者さんと接していくなかで名前を覚えてくれて衛生士であることも理解していただけていますが, 「1人の患者さんに対して1人担当衛生士」という認識が弱いと感じました。アピールなどは少々苦手ですが, 現状を変えていければと思います。患者さんの心を動かして求められる衛生士にならなければと思いました。

<質問>

日吉歯科ではSRP後のレントゲンを撮影するときどのように説明をしていますか? 原発のこともありレントゲンをできるだけ撮りたくないという方がいま

す。線量や防護服の着用で問題ないことを説明していますが、それでもあまりいい顔をされません。私もできるだけ撮らずにすむようにしていますが、日吉歯科での方法を教えて下さい。

<感想 歯科衛生士 鬼塚早希>

衛生士の鬼塚です。

学校卒業後、当院で勤務し8年目となります。今は小児から高齢の患者さんまで広く担当をさせて頂いてます。

セミナー1日目、この日の徳本さんのお話を今の自分の状況や考え方を照らし合わせながら聞いていました。

その中で熊谷先生からの「Oral PyhsicianとしてじゃなくてD.D.S.の衛生士なんだよ」という一言にハッとしました。

症例写真を見てもカリエスや歯石といった目に見える問題点ばかりを捉えてしまい、その後ろにある本当のリスク、問題点に気付くのが後になっていたように感じます。

また、重度の患者さんの担当になるたび、そうってしまった経緯に目を向けるのではなく、私自身の技術に不安をもったり、初期治療での結果ばかりを考えていたとも気がつきました。

このセミナーでは、徳本さんが持っている知識・技術を教えてもらいそれを活かしていくためのものだと思っていましたが、そうではなく、衛生士としての本質を学び、その中で必要な知識や技術を学ぶものと分かり、今後のセミナーへの心構えができました。

これからのセミナーを受けていく中でD.D.Sの衛生士ではなく、Oral Pyhsicianの衛生士としての視野で目先の状況だけでなくその背景にあるものや何をすべきか、何を考えるべきか、今までと違う角度から問題点などを捉えられるよ

う、技術だけではないものを吸収して、私の中の衛生士像が Oral Physician として明確になるようにしていきたいと思っています。

とくに「人を動かす事が出来る」衛生士、「健康の価値を伝え健康である人を引きつけられる」衛生士である事

その為にどうあるべきか、このセミナーが終わるまでに自分の中で見つけていきたいと思いました。

これからよろしく願いいたします。

<感想 歯科衛生士 島崎沙耶佳>

島崎沙耶佳

* 歯科衛生士 6年目

* 4年半、矯正歯科専門の歯科医院で働いた後、昨年10月下旬から当院へ転職、初めてMTMのシステムを知りました。

* 今年7月、DH見学セミナーに参加させていただきました。

今回のセミナーを受講させていただき、見学セミナー時の再確認をする事ができました。

今までの「歯科衛生士」に対するイメージは「口腔内のクリーニングや診療のアシスタントを行なう人」という感じで、私自身、決められた施術内容を行なうだけのクリーニングを行なってきたように思います。

ですが、MTMを学んでからはそのイメージがガラリと変わり、目指す歯科衛生士像がはっきりし、私も患者さんの口腔の健康を守っていきたい！と感じるようになりました。その為には患者さん一人一人に合った内容を自ら考え、口腔内を改善していく事も大切ですが、それ以上に必要な事は、患者さん自身のモチベーションを高め、行動変容させていくことだと知りました。

患者さん自身に変化を与える為には歯科衛生士である私自身が常に学び、向上心を持つ事が必要だと改めて感じました。

MTMを知り、歯科衛生士という職業の素晴らしさや誇りを感じることができました。

今不安に感じている事は、今まで SRP を全く行っていなかったため、知識・技術ともに不十分で、実際の症例なども参考書や先輩のアドバイスを受けながら、手探り状態で行なっていることです。

今回のセミナーを通じて自信をもって仕事ができるよう頑張りたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

<感想 歯科衛生士 栗原菜月>

私は栗原と申します。

ひるま矯正歯科に来てからは2ヶ月と日が浅い衛生士です。

こちらの診療所に来る前には数箇所の一般歯科を渡り歩き、衛生士を辞めてしまおうかと思い悩んだ時期がありましたが、3ヶ月の休養を経た後に臨床へ戻ってきました。

過去にお世話になった先生の中にヘルスケア歯科研究会に入ってもらった方がいて自分自身も講習を受けたりしましたが、当時いた診療所の方針との食い違いから実際の診療に生かす機会は滅多にないままでした。

今回のセミナーを受講し、かなり久々に熊谷先生のお考えに触れる機会を得られた事で、それまでも幾度となく辞めてしまおうとしていた衛生士という仕事の価値を見出す切掛けがここにあった事を思い出す事ができました。

ただドクターの指示で動くだけではない、患者を受け持つプロとしての自覚と知識をつけ、それを磨き続ける事の重要性を再認識でき大変有意義な時間を過ごす事ができたと思います。

どうもありがとうございました。

<感想 歯科衛生士 大城有里>

先日は、素晴らしい講義をしていただきありがとうございます。

プロフェッショナルとしての歯科衛生士の在り方は、常に進化をしなければ後退であり、自己投資をして知識、技術を取得していくべきであると言われてみて、現在の自分はプロ意識が足りないと気づきました。同時に、虫歯学、予防学における歯科衛生士の役割を考えさせられました。歯科が医科レベルに至るための意識改革など、私達に取り組んでいくべきことは沢山あるんだと今、気づいたことは今後の私にとって

重要なポイントになると確信しました。

ありがとうございます。次回、12月の講義をたのしみにしています。

どうぞ宜しくお願いします。

<感想 歯科技工士 伊東香澄>

技工士の伊東と申します。

技工士学校を卒業後5年間補綴の技工所に勤務し、私自身が矯正の治療を始めたのをきっかけに矯正技工物製作してみたいと思い、ひるま矯正歯科に入社して1年になります。

院内に勤めて初めて熊谷先生の書かれた論文を拝見させていただいたり、オーラルフィジシャンチームミーティングに参加させていただいたり、また今回のセミナーでお話を聞かせていただいたり、技工所にいたままでは知らなかったであろうことがたくさんありとても勉強になります。

そして、今まで技工物についてしか学んでこなかったこと学ぼうとしなかったことに反省をしています。

私はライセンスのお話がとても心に残りました。

技工士もやはりライセンスを預かっているものであり、しっかり勉強しなくては
いけないなど改めて思いました。

技工のことだけでなく、様々な知識を学べたらと思います。

ありがとうございました。

<感想 受付 坂本真由美>

受付の坂本と申します。

歯科衛生士という職業は責任を伴う分やりがいがありそうだなあと、興味津々
で聞かせて頂きました。

歯科衛生士が効率よく仕事ができるよう、サポートしなければならないと感じ
ました。

近すぎず遠すぎない適度な距離感を意識する事や、スライド「患者さんの心をつかむために」は、自分の職域にも当てはまり、考えさせられました。

この院に長く気持ちよく通って頂けるよう、心がけていきたいです。

以上